

平成三十年度 入学試験問題

国語

第三回

【注 意】

- ・試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・問題は一ページから六ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一 — (1) 「アンコ」とありますが、これはどのようなものをたとえていますか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問二 — (2) 「ではなぜ、テレビ欄が最後に印刷されるのか。」とありますが、どうしてテレビ欄が最後に印刷されるのですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問三 — (3) 「もうひとつは、『教育』です。」とありますが、新聞が果たした教育の役割とはどのような役割ですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問四 — (4) 「日本の新聞が手がけたものに、文化活動があります。」とありますが、次のア～エの中で、日本の新聞が手がけたものではないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 随筆の掲載ずいひつ けいさい イ コンサートの主催しゅまい
ウ 講演会の開催こうえん エ 欧米の王族の紹介おうべい しょうかく

問五 この文章は二つに分けることができます。後半の最初の五字を抜き出しなさい。(読点やかっこなどがあれば字数に入ります。)

問六

A

D

 に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

- ア あらかじめ イ こうやって
ウ たとえば エ じつくり

問七 — (ア) のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は、「アンコ」と「包装紙」といったたとえを使って、新聞の

紙面の印刷の順番と構成の関係を説明している。

イ 筆者は、新聞と週刊誌の作り方の違いを示すことで、新聞が最新のニュースを伝えるのに適していることを説明している。

ウ 筆者によれば、日本の新聞の発行部数が多いのは、明治時代から貧しい人々に小説や音楽などを提供する活動をしてきたからである。

エ 筆者によれば、日本の新聞の発行部数が多いのは、外国にくらべて廉価で、子どものころから新聞を読む習慣があるからである。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一

——(1)「春江ちゃん」とありますが、このときの春江ちゃんの気持ちの説明としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 泰^{やす}くんのオケラをみんなで協力して捜^{さが}していることをよいことだ
 と思う、誇^{ほこ}らしい気持ちになっている。

イ オケラで遊んでいたのは泰くんやほかの児童であり、自分は関係
 ないと主張^かしたい気持ちになっている。

ウ 自分を含^かめみんなでおケラで遊んでいたことが先生にわかってし
 まったので、気^きまずい気持ちになっている。

エ 先生に注意されたことで、オケラで遊ぶことがよくないことだと
 わかり、謝罪^せしたい気持ちになっている。

問二

——(2)「先生が眉間^{まゆげん}にしわを寄せたまま、押し黙^{おしだま}っている」とありますが、どうして先生はこのような態度をとっているのですか。解答
 らんに二行以内で答えなさい。

問三

(3) に入れるのにふさわしい漢字一字を文中から抜き出しなさい。

問四

——(4)「教室中が神妙な雰囲気になった。」とありますが、これはどういうことですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問五

——(5)「えー、という残念そうな声に、はいという声がかぶさった。」とありますが、ここに現れている子どもたちの気持ちを解答らんに二行以内で答えなさい。

問六

——(6)「山」とありますが、「山」を使った次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 海のものとも山のものともつかない
- 二 船頭多くして船山に登る
- 三 他山の石
- 四 氷山の一角
- 五 ちりも積もれば山となる

〔意味〕

- ア 他人のまちがつたおこないでも、自分をみがく助けになる。
 イ ものごとの正体がかめず、結果がどうなるか、見当がつかない。
 ウ わずかなものでも重なれば大きなものとなる。
 エ さしずする人ばかりだと、ものごとがまとまらず、とんでもないことになる。
 オ 多くの悪いことのうちの、ほんの一部分。

問七

A ～ D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

- ア さわざわ イ ひそひそ ウ もじもじ エ もぞもぞ

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 先生は児童たちがオケラで遊んでいたことを知って驚いたが、強い口調でしかるのではなく、オケラの気持ちを想像させることで、そのざんこくさを知らせようとした。
 イ 先生は児童たちが虫に親しんでいることはよいことだと思つたが、オケラの扱い方には問題があるので、自然に返すことで丁寧な扱い方を教えようとした。
 ウ オケラで遊ぶことを先生に禁止されたときには、残念そうな声も出たが、オケラを自然に返し終わった後は、よいことをしたという気持ちになった。
 エ 「私」は先生がオケラで遊ぶことを禁止したときには、ほっとする気持ちにもなったのだが、オケラを自然に返すときには、放したくないという感情が起こつた。

